

# 議会活動だより

2023 No. 6

沖縄県議会議員

あらかき こうえい  
新垣 光栄



(イゲ(伊藝)ハワイ州知事表敬 ハワイ州庁舎知事室にて 7月20日 )

## ハワイ州知事表敬

### 世界のウチナンチュ大会への招待

沖縄が復帰50周年を迎えた節目の年であり、世界のウチナンチュ大会へのご案内。また今後とも、ハワイと沖縄の間で経済・文化・教育など色々な分野で協力し、交流を深めていくことについて意見交換。

父親の出身地の西原町へ、子どもたちを連れて行き、親戚にも会いたいと返事を頂いた

## 魂・知・和 いざ行かん我々の家は五大洲 誠一つの金武(沖縄) 世界石

昨年、復帰50年の節目で私は、沖縄から出たウチナンチュの皆さんが、世界に目を向け、沖縄独自の歴史や文化、風土に思いを馳せ、故郷を大切に思いながら、ウチナンチュであることに誇りを持って、各国でウチナーネットワークを継承していることを実感するとともに、万国津梁の精神を目のあたりにしました。私たち沖縄人ウチナンチュも心一つにして、世界に目を向け、自由な視点や考え方で、山積する課題克服のために全力で取り組んで行く大切さを実感している。今年は議会でも、政治の停滞のない、子供たちに夢があり、お年寄りに安らぎのある沖縄にするため頑張ります。

### ハワイ州 観光局

コロナ対策のハワイモデル、行政による観光業界への支援、観光税導入等について、観光客の回復による観光業界の人材確保他、新たな課題について意見交換。

### ハワイ州 エナジー局

ハワイでは、2040年までにすべての電気を再生エネルギーとする目標を立て、大規模なプロジェクトを実施して順調に進んでいる取り組みについて意見交換。

### ハワイ東西センター

沖縄からも多くの留学生が派遣され、経済政策や社会福祉、教育などのテーマを研究している。沖縄版東西センター構想があり、沖縄に人材育成や研究のための国際機関設立を目指した場合に協力を頂きたいと提案、意見交換。西原町琉大医学部跡地に誘致したい。

### ハワイ沖縄連合会

ウチナンチュ大会のないときの文化交流をどのように行っていくのか。経済交流をどのように行っていくのか。意見交換  
11月定例会代表質問で提案。



(イゲハワイ州知事 沖縄県議会にて演説 10月31日)



# 2022年11月定例会 代表質問 抜粋概要

## Q1：新型コロナウイルス感染対策 提案

- ・抗原検査キットの配布
- ・入院待機ステーション整備 提案

★実現

## Q2：新・沖縄 21 世紀ビジョンと知事公約への提案

- ・公民館の活用・活動支援 提案
- ・就職困難者・生活困窮者への自動車運転免許証取得支援 提案

★実現



## Q3：高齢者の運転免許自主返納者支援について ★実施へ

- ・運転返納経歴証明書の即日交付
- ・自主返納後の優遇措置の拡充

## Q4：基地問題と平和行政

- ・PFAS 等の水質と土壌調査 提案
- ・南部の土砂採取場の取得 提案
- ・実効性のあるヘイトスピーチ条例

## Q5：世界のウチナンチュ会館（むーとうやー）設置と、旧県立郷土劇場を併設して中城公園への整備提案

## Q6：観光目的税の定率導入を提案 世界水準の観光地へ

## A1：保険医療部長 新型コロナ対策

抗原検査キットについては、有症状の小・中・高校生世帯・高齢者施設や保育施設の職員等へ配付し、全国に先駆けて取り組んでいる。

入院待機ステーションについては、最大 100 床を確保している。臨時の医療施設としての再稼働も含め受け入れ態勢を強化していきたい。

## A2：玉城デニー知事▶半嶺教育長 公民館支援

知事：議員ご案内のように公民館の活用は、これからの地域社会を持続していく上でも非常に重要な取り組みになると思います。公民館の活用について、しっかりと取り組んでまいります。

教育長：関係機関と連携しながら、地域コミュニティの核となる公民館活動の支援に取り組んでまいります。

## A2：子ども生活福祉部長▶商工労働部長 就職困難者・生活困窮者への自動車運転免許取得支援

福祉部長：県としましては、自動車運転免許の取得を支援してまいります。

商工労働部長：今後、他自治体における先進事例の調査等を実施した上で、どのような方策が可能か研究してまいります。

## A3：県警本部長 高齢者の免許証自主返納者支援

県警察としましては、高齢者の負担軽減に配慮し、運転経歴証明書の即日取得の方法等の周知、優遇措置の拡充にも努めてまいります。

## A4：環境部長・福祉部長 平和行政

環境部長 PFAS：全県調査の水質・土壌に係る分析方法については、使用実績のある方法で実施を考えています。

環境部長 戦跡国定公園用地取得：県が当該土地を取得することは困難であると考えています。

福祉部長 ヘイトスピーチ条例：包括的な人権尊重条例として、骨子案を取りまとめたところでございます。

## A5：文化観光スポーツ部長

世界のウチナンチュの交流拠点については、既存施設の活用を含め、取り組んでまいります。また、旧郷土劇場の整備については、既存の文化施設の整備・活用状況を確認しながら、検討していきたい。

## A6：文化観光スポーツ部長 観光税導入

県では、沖縄が世界に誇れる観光リゾート地として発展することを目指すとともに、県民生活と調和した持続的な観光振興を図る観点から、宿泊税の導入に向けた取り組みを進めてまいります。

☆その他：西原高校マーチングバンド部表彰など質問



## 待望の制度導入に喜び

2022年4月5日 沖縄タイムス

「パーキングパーミット制度」の7月導入を喜び**新垣光栄県議**（おきなわ南風、中頭郡区）。

障がいのある人や車いす利用者、妊婦らに利用証を交付し、優先駐車場を使いやすくするための制度。内部疾患があり歩行困難な友人の存在をきっかけに、県議会で導入の必要性を訴えてきた。「市町村や商業施設を巻き込む施策だけに、6年もかかったけど、本当に良かった」と感慨深げ。「必要なのに駐車を遠慮する方々も多かったが、これで気兼ねなく利用できるようになる。友人と一緒に喜びたい」と笑顔。

### Q1：パーキングパーミット制度導入★実現

### Q2：熱田久場海岸の保全

### Q3：防災・減災対策 要請

- ・小波津川のデイゴを残して整備
- ・河川：普天間川（北中城）、小波津川、宇地泊川（西原）、比謝川（嘉手納）
- ・土砂崩壊：北中城（仲順・島袋等）、中城（当間・奥間等）、西原（池田等）★実施中



### 宿泊税で県経済復活を

○…県が設置した観光振興基金について一言を持つ新垣光栄氏（おきなわ）。県は基金の財源として1泊当たりの宿泊料から200～500円程度を徴収する「宿泊税」の導入を検討しているが、徴収額を千円に引き上げよう提言する。「千円にすると基金に毎年数百億円の財源が積み上がる。独自財源で観光振興に向けた基盤整備事業に着手できる」と強調。世界水準の景観形成のほか、県独自の鉄軌道整備も視野に入る。提言実現で、コロナ禍で傷つく県経済の復活を願う。

### Q4：新型コロナ 事業者支援 バス事業者支援と平和教育 ★実現

### Q5：那覇広域時計画区域のガイドライン見直し48年ぶり 審議会設置★提案実現

### Q6：大型 MICE 施設整備

### Q7：子どもの貧困対策について

- ・子どもの貧困対策推進基金
- ・ヤングケアラー支援
- ・子どもの居場所づくり

### A1：玉城デニー知事 福祉事業

パーキングパーミット制度、令和4年7月から導入をする方向で今進めております

### A2：土木建築部長 海岸保全事業

海岸の熱田久場地区につきましては、海岸保全区域の指定等に向けて、地元市町村と意見交換を行いながら、その対応について検討していきたい。

### A3：土木建築部長 小波津川のデイゴを残す

地元及び西原町と調整を行いながら、デイゴの木が残せるように検討を行っていきたくと考えております。

**光栄：県土木建築部は、重点整備事業、緊急浚渫推進事業、急傾斜地崩壊、用地買収等、精力的に取り組んでいます。**

感謝 ☆☆☆

### A4：教育長 コロナ対策と平和学習

平和関連施設の積極的な利用を、学校等へ平和学習等で活用するよう促したところでございます。

### A5：玉城デニー知事 ガイドライン見直し

議員をはじめたくさんの皆様からも、これからの沖縄の将来、均衡ある県土の発展のためには重要であるというご提案などもいただいております。

### A6：文化観光スポーツ部長 大型 MICE 施設

県は、大型MICE施設整備を核とした沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画（案）を取りまとめ、公表したところです。地元自治体、両町が掲げるまちづくりの実現に連携して取り組んでいきます。

### A7：玉城デニー知事 ヤングケアラー支援

子どもの貧困対策推進基金ですが、基金を60億円に積み増した上で、就学援助の充実などの市町村支援、そしてヤングケアラーや若年妊産婦などへの支援にしっかり取り組んでまいりたいと思います。

**福祉部長**：議員がおっしゃる公民館で行う居場所づくりを支援してまいりたい。**教育長**：議員ご指摘のように公民館は社会教育を行う施設で、子供の居場所としての機能も持っています。しっかり市町村に情報を提供しながら、活用していきたいと思います。



## 米軍基地特別委員会

# F 22 騒音で生活悪化 嘉手納配備影響

県議会は 20 日、米軍基地関係特別委員会で、米軍嘉手納基地の F 15 戦闘機の退役に伴い、F 22 戦闘機が暫定配備されたことを受け、渡口輝環境保全課長は騒音が悪化し「周辺の生活環境に大きな影響を与えている」との認識を示した。

新垣光栄氏（おきなわ南風）への答弁。 2022 年 12 月 21 日 沖縄タイムス

## 土木環境委員会



## 土建部発注工事 週休 2 日を推進 県、費用積算方式を変更

2023 年 3 月 8 日（水）琉球新報

県は 7 日の県議会 2 月定例会土木環境委員会で、土木建築部発注の公共工事における週休 2 日制の取り組みを強化するため、2023 年度から工事費用の積算方式を変更すると明らかにした。新垣光栄（おきなわ南風）への答弁。

## モノ社債権放棄 再審査を可決 県議会土木環境委

2022 年 12 月 17 日 沖縄タイムス 琉球新報

県が沖縄都市モノレール社に実施している 2 件の事業資金貸し付けを巡り、16 日の委員会で動議を提出した沖縄・自民は「最終的に賛同せざるを得ない立場だが、議論が不十分」と主張。一方、新垣光栄氏（おきなわ南風）は「代表質問や一般質問、委員会で十分な審査ができた」と動議に反対し「内部統制を強化して再発防止に努める」ことを県に求める付帯決議を付けた。公明、無所属の会の賛同。委員会、本会議とも可決した。

## 県道から雑草が消える：県独自の性能規定方式 提案

土木建築部長：性能規定方式は、県の要求水準に対して受注者のノウハウを活用して達成するもので、現在、沖縄本島内の県管理道路の約 4 割で実施をし、良好な沿道景観形成の成果が現れております。議員おっしゃるとおり、だんだんと効果のほうも見えつつありますので、令和 5 年度は、関係団体との意見交換を継続しながら、宮古、八重山、離島方面にも展開をして本格的な導入に向けて取り組みたいと考えております。さらに、低木・高木の管理まで見据えて実施していきたいと考えております。今後とも、沖縄らしい世界水準の観光地にふさわしい沿道景観の形成に努めていきたいと考えております。

## 沖縄県都市計画審議



(沖縄県都市計画審議会 八汐荘 12 月 27 日 審議委員として参加)

## 那覇広域都市計画区域の見直し 了承 市街化区域 275 ヘクタール編入 (西原町・豊見城市・八重瀬町)

県は 11 月から来年 3 月にかけて、那覇広域都市計画の区域区分を見直し、新たに西原町や豊見城市など那覇市周辺の市町村を中心に市街化区域に編入する。

土地利用が大幅に緩和されることで人口が増え、公共施設やインフラ整備の促進も期待される。一方で、那覇広域内の中城村や北中城村は、那覇広域から離脱する議論も浮上している。県は「両村の街づくりを尊重しつつ、無秩序な市街化を防止するため一緒に連携しながら広域的な街づくりを目指したい」としている。

那覇広域都市計画区域：本島中南部の 11 市町村で構成される那覇広域都市計画区域は無秩序な市街地形成を防止する観点から、市街化区域と開発を抑制する市街化調整区域に区分。

県の均衡ある発展のために重要政策であり、新・沖縄 21 世ビジョン基本計画に掲げている。



# 知事要請等（性能規定方式）2月10日



造園業建設業協会の下地浩之会長らは、道路の雑草対策で導入している発注方式「性能規定方式」について、高木剪定にも広げよう島袋土木建築部長にも2月1日に要請した。



照屋副知事面談 1月20日

## 会派視察調査



東村・国頭村 5月11日（水）・12日（木）赤土流出防止対策、やんばる世界自然遺産の利活用と今後の対策について。



鹿児島県霧島市 10月8日（土）・9日（日）沖縄県の家畜振興の現状と課題について視察調査。

記者メモ  
沖縄タイムス

### 記者のメモ



#### 町村議員 処遇改善訴え

○…統一地方選を前に、町村議員の処遇改善を訴えた新垣光栄県議（おきなわ南風、中頭郡区）。県の調べによると、町村議員の報酬月額ほとんどが20万円前後。新垣氏自身、中城村議時代に新聞配達の仕事と「二足のわらじ」で活動していた経験から「交際費などの出費は多く、生活費が十分ではなかった」と振り返る。その結果生まれているなり手不足の問題を指摘し、「地方の若者の意見が反映されなくなる」との危機感を強調。地方議員の報酬を巡る議論に、一石を投げられるか。

令和4年8月29日

記者席  
琉球新報

### “属国”の首相に怒り



記者席

○…防衛費増額などをバイデン米大統領に報告し、今後の国会議論を通じて国民に説明する方針を示す岸田文雄首相に「順番が逆。いかにも属国だ」と怒りをあらわにする新垣光栄県議（おきなわ南風）。「県民の意見を聞いて政治に生かしていこうという自分の行動が無意味に思えてくる」とも漏らす。卯年の年男として今年は飛躍・向上を誓っていただけに水を差された格好となったが、「それでもやらないといけぬ」と無力感を払しょくするため前を向く。

令和5年1月19日

記者席  
琉球新報



記者席

### 感謝状、カンフル剤に

○…地元の中城村立津覇小学校で交通安全や学習支援のボランティアをしている新垣光栄県議（おきなわ南風）。先月末に、児童から感謝状を受け取ったという。青少年健全育成活動で県からも表彰状が贈られたばかりだが、「こちらの方が断然うれしい」と児童が書いた感謝のメッセージに触れながら目を細める。16年続けるボランティア活動。「もう辞め時かなと思ったところで、こういうのをもらって元気が出てくる。また頑張れる」と、カンフル剤になったよう。

令和4年12月3日

記者メモ  
沖縄タイムス

### 記者のメモ



#### 公民館の役割に期待大

○…新・沖縄21世紀ビジョン基本計画の中に「公民館等での地域活動の定着等に取り組む」との記述が入ったのを「大きな前進」と喜ぶ新垣光栄県議（おきなわ南風、中頭郡区）。「公民館が機能的になるほど、行政コストの幅広い削減につながる」が特論だけに「住民同士のぬちやーしー（互いに提供や支援する）の状況を改善につなげたい。今後の取り組みが鍵だ」と意気込む。県民にもPRしたいところだが、2月定例会は一般質問の割り当てがないことが判明し、ショックを受けた様子。

令和5年2月11日



# 土木環境委員会 海外視察調査

アメリカ合衆国 ワシントンD.C.

今回、私たちは、沖縄県の抱える政策課題である、①「米軍基地から発生するPFAS等の環境汚染問題解決のための米軍基地立入調査実現」、②「沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産の登録に伴う、環境保全と地元経済の活性化」、③「国立自然史博物館の誘致活動促進」3件に対して、視察調査・情報共有・意見交換を実施した。



米国環境保護庁 (EPA) 2023.1.26

上記の EPA 職員の意見交換から私は、EPA が PFAS 汚染問題を大変重要な課題ととらえており、また EPA の職員も国際機関に従事している者として誇りを持っている。今できるだけ新しい規制、解決方法に着目し情報を提供していく使命感。EPA が持ち合わせる専門性を世界に対して共有する一役を担っているとの志がある。そこに PFAS 問題解決の可能性、希望を感じた。

EPA (ジャック・シェバ氏等) は、バイデン大統領、リーガン長官に対して諮問を行っている。またリーガン長官本人も、実はこの EPA 長官に就任される前にノースカロライナ州の環境長官であり個人的にもこの問題を重要視している。

このような情勢下は、沖縄の PFAS 問題解決のための絶好な機会であり日本政府がしっかりとした協議、対応をすれば解決できる課題であると痛感した。

しかし日本政府は、国民の命や健康が脅かされている状況下、日米地位協定の環境補足協定で立入り調査が認められる条件に該当しないとの認識を示した。

その上、**2023年1月23日、私たちにジョシュア・モルコフ日本プログラムマネージャーが報告した通り、2022年9月2日に東京で開催された米環境保護 (EPA) のマイケル・リーガン長官と西村明宏環境相との会談後、EPA と環境省は共同声明を発表したが、有機フッ素化合物 PFAS (ピーファス) に関する事項は、日本外務省と米国大使館との事前協議を受けて、「沖縄の米軍基地との関連」は除外されていたことが明らかになっている。**

「国民の命を守ることに以外に何を守護しているのか」日本政府には、早急に原因を特定し汚染物を除去する責務がある。日本政府の弱腰外交は、絶好の機会を逸している。私たち沖縄県議会、沖縄県、県民が一丸となって課題解決のため更に取り組みを強化していく必要がある。

発行：新垣光栄

皆様のご提言をお待ちしております。

〒901-2406 沖縄県中頭郡中城村字当間140-3  
TEL.098-866-2697 FAX.098-866-2588  
E-MAIL:kouei@oki-gikai.jp 携帯電話 090-1082-5715

